

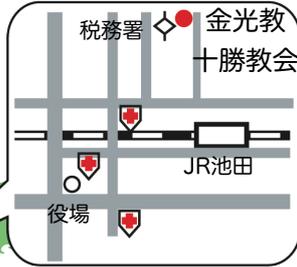
No.84. 2020. Jan.

1月・教会設立100年 お正月号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



IKEDA
イケダ



金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町1



十勝教会 だより 84



十勝教会
Facebook



十勝教会
ホームページ



金光教
公式HP

<http://kontoka.webcrow.jp>

Facebook 「金光教十勝教会」

みなさん
明けましておめでとございます。
令和二年、^{かのえね}庚子、西暦二〇二〇年
の新春を迎えました。今年もどうぞ
よろしく願いいたします。



注意！83号、84号は
Mac用Pagesで作成しています。
WindowsのAdobeReaderだと一部の
フォントが表示されないことがあります

令和二年を迎えて「お礼の心でおかげをいただきよう」

金光教十勝教会

さて、今年はおリンピック・イヤーということで世間は相当盛り上がりそうですが、私たちにとつてオリンピックと同じくらい、イヤそれ以上に大事なことが待ち構えています。

そう「教会設立一〇〇年記念祭」という一大事が。

来る七月十二日（日曜日）、奉祝の祭典をお仕えますので、みなさんどうぞ御都合を付けて参拝のおかけを蒙ってください。

ちなみにオリンピックが幕を開けるのはその二週間後なのでオリンピックファンの方も安心してお参りできますね…。

— 閑話休題 —

「旧年中はお世話になりました。本年もよろしく願いいたします」という挨拶に代表されるように、お正

月は昨年一年のお礼と、新年を祝い一年のお願いをする日と言えます。

これを金光教的(?)な表現になおすと、「良いこと、悪いこと色々あったなかで、とにかく一年を過ごせたことへお礼を言いましょう」そして「そのお礼ができる心で、あらためて一年間を過ごさせてもらいましょう」となります。

そうは言うものの、人間往々にして悪いことは覚えていてくれるけど良いことは忘れちゃうもの。それどころか問題や不安材料を抱えているなかで、果たして感謝の心になれるかと言われれば：なかなかないというのも現実です。

私たちは聖人ではないので「先行きは不透明だけれども、まずは一年過ごせたじゃやないか。そのことに感謝しようよ。」と言われても、そう簡単に納得できないのが普通です。でも後になって「それもそうか」と思える時はありませんか(ありますよね?)。

金光教の信心の要点は「おかげは和賀心にある」です。

神様のおかげ(御利益)は授けてもらうのではなく「和賀心=我が心」で受け取るもの。そして和賀心は「よろこぶ心、お礼の心」だということなんです。

かつて三代金光様は「ありがたい、ありがたいとばかり思う人には、ありがたいことばかりできてきます」と語られました。これはまさに「おかげは和賀心にある」について教えてくれたものです。

確かに、難儀の真つ只中にいる本人にしてみると、お礼を言えるようなことは思い当たらないかもしれませぬ。

ただ当事者は難儀だ、ダメだと思っただけでも外から見ていると「なんだかんた言っても、年を越せてるじゃやないか」、「目標は達成できなかったが、これだけできたじゃないか」などなど、「助けられ、支えられているじゃないか」、「そこま

でできるのはすごいじゃないか」ということは結構ありませんか。

和賀心は、自らそのことに気付けるようになる心です。そしてお礼が言えるようになればその心に神様のおかげが受けられるということなんです。

しかも二代金光様は「八寸のものを一尺にも喜ぶ者には、足りぬだけは神が足してやる」と諭されています。大きな難儀に隠れた小さな安心、その小さな安心を大事にしていれば神様が大きな安心にしてくれるとでも言いましょうか。

重箱の隅をつついてでもお礼を言えるようにしよう：というものではないかもしれませんが、一見些細なことにもお礼を言うようにしているとそううち自然と何にでもお礼が言えるようになります(はずです)。そうなればしめたもの。

教祖様も「おかげは受け勝ち」と言われました。ありがたいという心、お礼の心を育てて安心のおかげを受け取りましょう。

教会日誌 (令和元年11月1日～12月10日まで)

11月3日 夕張教会大祭、教会長祭主・教話奉仕、交流参拝。

11月3日 北見教会大祭、交流参拝。

11月10日 帯広教会大祭、交流参拝。

11月10日 大祭前大掃除・大祭打ち合わせ。

11月13日 函館教会大祭、教会長参列御用。

11月15日 大祭前ご用奉仕。

11月16日 大祭前ご用奉仕。

11月17日 立教百六十年・生神金光大神大祭執行。

11月22日 恵庭教会、葬儀式、教会長会葬参拝。

11月24日 道東地区教会連合会役員会、北見教会。



写真-大祭前御用奉仕 大祭の前々日からお花、直会料理や会場準備などみなさんのご用奉仕をいただき大祭を迎える準備が整いました。

写真-立教160年・生神金光大神大祭（次のページも）



当日は明け方こそ吹雪模様でたが祭典前には晴天となり、麗しく立教160年の秋の御大祭
が仕えられました。例年通り祭典後には婦人部の手作り料理での直会宴が開かれました。





写真 薫別講社 立教百六十年生神金光大神大祭

12月8日 輔教任命・Tさん

12月8日 本部、布教功労者報徳祭・輔教任命式、
代表者参拝。

12月5日 薫別講社・立教百六十年生神金光大神大祭。

11月30日 帯広市、M家、式年祭。

11月30日 帯広市、I家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。

11月29日 北見市、K家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。

1 プロフィール

「人はみな、神様からの愛を授けられ、この世にただ一つのいのちとして誕生します。神の子としてしっかりと生きてほしいと神様からの愛を授けてくださる。私たちが誰にも大切にしたい思いからです(99年9月20日)」

お名前 _____ 生年月日 _____年 ____月 ____日

居住所 _____

電話番号 _____ (FAX番号) _____

携帯電話番号 _____

出生地 _____ 本籍地 _____

血液型 _____ 干支 _____ 星座 _____

メールアドレス(携帯) _____

メールアドレス(PC) _____

資格・免許 _____

性格 _____

その他、社会的な経歴、日曜としていることなど _____

緊急時の連絡先:名前、関係、連絡先(電話番号など)

・名前 _____ 関係 _____ 電話番号など _____

・名前 _____ 関係 _____ 電話番号など _____

記入年月日: _____ 更新年月日: _____



エンディング・ノート「みちしるべ」
 金光教が作成したエンディング・ノートです。家族や後を任せたい人に自分の願いを伝え「より自分らしい最期を迎えるため」だけでなく、「自分の人生をあらためて見つめ直し、残りの人生をよりよく生きていく」ために活用してみませんか。

教会で無料配布しています
 (金光教徒社での販売価格は330円です)

金光教十勝教会 今年の主な祭典行事日程

- 信徒会総会・記念祭奉迎委員会
 新年会(懇親会) 2月9日(日)
- 春季霊祭 3月20日(春分の日)
- 勸学祭 4月4日(土)
- 薫別講社・天地金乃神大祭 4月5日(日)
- 記念祭奉迎奉告祭 4月19日(日)
- 上半期感謝祭 6月28日(日)
- 教会設立100年記念祭 7月12日(日)
- 布教功労者報徳祭 8月16日(日)
- 秋季霊祭 9月22日(秋分の日)
- 天地金乃神大祭 11月15日(日)
- 薫別講社・布教100年記念大祭 12月5日(土)
- 越年感謝祭 12月31日(木)

▼記念祭準備、境内清掃は都度行います

※日程は変更になる場合があります
 ※年末の案内では、薫別講社の春の御大祭が5月になっておりましたが、4月の誤りでした訂正いたします。

**金光教十勝教会
 教会設立百年記念祭**

令和二年七月十二日(日) 午前十一時

▼御祭典 教会会堂

▼記念教話 瀬戸信吉先生

(岡山県笠岡市・金光教入田教会長)

▼直会宴 池田町田園ホール

※十六時三〇分終了予定

月例祭

- 毎月 午後1時30分から
- 1日 生神金光大神月例祭
- 10日 月例霊祭
- 21日 天地金乃神月例祭

※4月1日の月例祭はありません
 ※3月21日、4月21日、9月21日の月例祭はありません